



はじめに

1995年の阪神淡路大震災、2011年の東日本大震災、2016年の熊本地震など、日本は過去30年間に大きな震災に見舞われ、各地域に甚大な被害をもたらされました。震災後には建物の安全性がますます求められるようになり、各企業や自治体においては建物の安全性とともに事業の継続、主要機能保持の重要性・必要性が認識されてきています。そして、耐震安全性と主要機能保持性能に優れる免震構造が、大いに注目されてきていると思います。

日本免震構造協会(以後、JSSIと記します)では、1993年に発足以来、免震建築の普及を目的に、免震構造の入門書的な図書の出版を行っています。入門書的な図書のうちのひとつで代表的なものです。2000年に、普及活動の中で多く寄せられた質問事項を整理して「Q&A形式」にまとめて「はじめの免震建築」を編集し出版しました。その後、2005年に「免震建築物に関する建設省(当時)告示」の発行を踏まえて「考え方進め方免震建築」へ、2013年に東日本大震災から得られた課題や知見を含めて「免震建築の基本がわかる本」へと改定を行ってまいりました。

さて、今回の改定ですが、JSSI内の普及委員会出版部会のメンバーに、技術委員会施工部会、維持管理委員会のメンバーが加わり、これまでより少し専門性を加えた内容で執筆・編集を行っています。最新の技術知見を網羅して、大地震から得た課題を含め、全面的な見直しをはかっています。実施例につきましては、過去10年あまりでさまざまな用途で免震建築が採用され竣工した建物を、協会賞受賞作品を中心に整理して紹介しています。本のタイトルも「わかる！免震建築—ここから広がる安全・安心—」と一新して、装いもあらたにA4版として発行します。

本書はJSSIの出版物の窓口的で、ガイドランス的な性格となっており、免震建築がどのようなものであるかをわかりやすく、具体的な写真やイラストを用いて説明しています。また、企業の企画担当者で事業持続計画で免震建築の耐震性を知りたい方、あるいは一般の建築はすでに設計しているが今後免震建築を設計したいと考えている建築家・建築構造技術者を対象に、「Q&A形式」で免震建築の全般にわたり、免震建築の原理から計画・設計・施工・さらに竣工後の維持管理まで基本的な項目が幅広く解説されています。さらに、詳しい内容を知りたい読者のためには、より専門性の高いJSSIの出版物を紹介するような構成となっています。

本書にて免震建築の基本、優れた耐震性、および魅力を理解していただき、普及の一助となって、免震建築がますます増えていくことを願っています。

2024年2月

一般社団法人日本免震構造協会

「わかる！免震建築—ここから広がる安全・安心—」編集WG

千馬一哉